

サービス利用事業所ニーズ調査

- この調査は、摂津市内に所在する事業所の動向を把握することにより、今後の本市施策策定の基礎資料とするためのものです。
- この調査に関わる調査関係者は、調査票の内容を他に漏らしたり、基礎資料以外の目的に使用することとは一切ありません。
- 調査の内容は、すべて統計的に処理します。申告者の不利益になることはありませんので、ありのままを記入してください。
- お忙しいとは存じますが、調査用紙にご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**12月7日(金)**までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、原則として事業所単位の調査ですので、各設問には事業所単位でお答えください。
2. この調査の回答については、平成 30 年 10 月 1 日を基準日として記入してください。
設問文の後に、複数の選択をお願いしている場合は、記載どおり複数お選びください。
また、() 内等の記入欄については、具体的な内容をご記入ください。
3. 調査票のご記入については、「黒」又は「青」のボールペン等を用い、はっきりとご記入ください。

【調査に関するお問い合わせ先】

摂津市 市民生活部 産業振興課 商工労政係

〒566-8555 摂津市三島 1-1-1

TEL：06-6383-1111 または 072-638-0007（内線 2352） 06-6383-1362（直通）

FAX：06-6319-5068 担当：末永

※お問い合わせ時間：9:00～17:00（土日祝休以外の平日）

企業概要についてご記入ください

※下記の□のチェックボックスには、「レ」を入れてください。

事業所区分	☐ 本社 ☐ 支店・営業所 ☐ 工場・加工場 ☐ 倉庫・物流施設 ☐ 研究所 ☐ 店舗・サービス施設 ☐ その他()			
経営形態	☐ 法人 ☐ 個人		資本金	千円
従業員数	事業所従業員数		全社従業員数	
	正社員	非正規雇用	正社員	非正規雇用
	人	人	人	人
創業	(M ・ T ・ S ・ H) 年			
業種	☐ 01 農林漁業 ☐ 02.鉱業 ☐ 03.建設業 ☐ 04.食品製造業 ☐ 05.繊維工業 ☐ 06.木材・木製品製造業 ☐ 07.紙関連製造業 ☐ 08.出版・印刷業 ☐ 09.化学工業 ☐ 10.石油・石炭製品製造業 ☐ 11.ゴム製品製造業 ☐ 12.皮革・毛皮製品製造業 ☐ 13.窯業・土石製品製造業 ☐ 14.鉄・非鉄金属製造業 ☐ 15.金属製品製造業 ☐ 16.一般機械器具製造業 ☐ 17.電気機械器具製造業 ☐ 18.輸送機械製造業 ☐ 19.精密・医療機械製造業 ☐ 20.その他の製造業 ☐ 21.卸売業 ☐ 22.小売業 ☐ 23 飲食店 ☐ 24.金融・保険業 ☐ 25.不動産業 ☐ 26.運輸・通信業 ☐ 27.電気・ガス・水道・熱供給業 ☐ 28.サービス業 ☐ 29.公的機関 ☐ 30.その他の業種()			

1. サービスの利用について

【問1】サービスの利用についておうかがいします。これまで貴社で利用されたことのある本市のサービスについて、該当するものすべてに○をつけてください。

1. 企業立地等促進制度	2. 先端設備導入計画	3. 中小企業事業資金融資
4. 起業家融資補助金	5. 中小企業育成事業補助金 (出展料、研修費補助)	6. 中小企業経営改善支援 コンサルタント派遣
7. 摂津ブランド認定制度	8. 商工業活性化補助金	9. セッピスクラッチ発行事業
10. パートタイマー等退職金共済制度	11. その他 ()	

利用されたことがあると回答された方におたずねします。そのサービスを利用してどうでしたか。良かった点、悪かった点について、サービスの番号とご感想、ご意見をご自由にご記入ください。

サービスの 番号	良かった点	悪かった点

2. 経営状況について

【問2】貴社の今期の景況感について、該当するものひとつに○をつけてください。

前期と比較して

1. 景況は上昇している	2. 景況はやや上昇している	3. 景況は横ばいである
4. 景況は下降気味である	5. 景況は下降している	

【問3】貴社の業界の今期の景況感について、該当するものひとつに○をつけてください。

前期と比較して

1. 景況は上昇している	2. 景況はやや上昇している	3. 景況は横ばいである
4. 景況は下降気味である	5. 景況は下降している	

【問4】貴社の業界の傾向について、該当するものひとつに○をつけてください。

1. 業界は拡大傾向にある	2. 業界は若干拡大傾向にある	3. 業界は横ばいである
4. 業界は若干縮小傾向にある	5. 業界は縮小傾向にある	

【問5】貴社の売上高について、該当するものひとつに○をつけてください。

今期の売上高は前期と比較して

1. 増加を見込む	2. 横ばいを見込む	3. 減少を見込む
-----------	------------	-----------

来期の売上高は今期（見込）と比較して

1. 増加を見込む	2. 横ばいを見込む	3. 減少を見込む
-----------	------------	-----------

【問 6】 貴社の最終利益について、該当するものひとつに○をつけてください。

今期の最終利益は前期と比較して

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 増加を見込む | 2. 横ばいを見込む | 3. 減少を見込む |
|-----------|------------|-----------|

来期の最終利益は今期（見込）と比較して

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 増加を見込む | 2. 横ばいを見込む | 3. 減少を見込む |
|-----------|------------|-----------|

【問 7】 同業他社と比較した貴社の技術水準、サービス品質水準について、該当するものひとつに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1. 高い | 2. 多少高い | 3. 同程度 |
| 4. 多少低い | 5. 低い | |

【問 8】 同業他社と比較した場合、現在、貴社の強みはどのような点ですか。該当するもの3つまでに○をつけてください。

＜表紙の業種が 01～20 番までの方＞

- | |
|--|
| 1. 研究開発・技術開発
2. 商品化・事業化
3. 技術力・製造（加工）精度
4. 品質管理・生産効率
5. 小ロット・試作対応
6. 短納期対応（スピード）
7. 価格対応
8. 販売・マーケティング
9. 事務効率・資金効率
10. 流通部門・サービス
11. ITの活用
12. 熟練技術者
13. デザイン力
14. その他（ ） |
|--|

＜表紙の業種が 21～30 番までの方＞

- | |
|--|
| 1. 商品政策（MD）
2. サービス
3. 営業・販売担当人材
4. 品質管理・鮮度管理
5. 価格政策
6. 物流・在庫管理
7. 営業・販売力
8. サプライチェーン
9. 事務効率・資金効率
10. 販売予測・需要予測
11. ITの活用
12. 流通チャネル政策
13. 企業イメージ
14. 広告・宣伝・販促
15. その他（ ） |
|--|

【問 9】 貴社がよく連携（業務提携や共同開発、共同仕入れ等）されるのは、どのようなタイプの業務ですか。該当するもの3つまでに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 情報交換 | 2. 研究開発・技術開発・プロモーション |
| 3. 商品化・事業化 | 4. 販売・マーケティング 5. 物流・チャネル開拓 |
| 6. その他（ ） | 7. 連携はしていない |

【問 10】 上の問 9 で「1」～「6」と回答された方におたずねします。 貴社がよく連携されるのは、どのような企業などですか。該当するもの3つまでに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 仕入先（原材料、部品、中間製品）・メーカー（製造業） | 2. 販売先・発注企業・卸売業者（中卸含む） |
| 3. 外注先 | 4. 同業他社 ※ |
| 5. 異業種他社 ※ | 6. 金融機関 |
| 7. 組合・業界団体 | 8. 異業種交流団体・産学官連携組織 |
| 9. 大学・大学院 | 10. 公的研究機関などの公的支援機関 |
| 11. 消費者・ユーザー（顧客） | 12. その他（ ） |

※仕入先、販売先・発注企業、外注先は除く

【問 11】 貴社がよく連携される企業などはどこに所在するものが多いですか。該当するもの3つまでに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1. 摂津市 | |
| 2. 吹田市、茨木市、豊中市、高槻市、箕面市、池田市、島本町、豊能町、能勢町
(摂津市以外の大阪府北摂地区) | |
| 3. 守口市、門真市、寝屋川市、枚方市、交野市、四条畷市、大東市(大阪府北河内地区) | |
| 4. 大阪市 | 5. その他大阪府内(選択肢の1～4以外) |
| 6. 大阪府以外の関西 | 7. 関西以外の国内 8. 海外() |

【問 12】 今後、経営においてどのような対応策が必要だとお考えですか。該当するもの5つまでに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 専門技術・接遇・対応の維持・強化 | 2. 顧客開拓・市場開拓、販売力強化 |
| 3. 製品・商品価格の値上げ | 4. 仕入先の変更 |
| 5. 人材・労働力の確保・育成 | 6. 賃金カット・人員削減 |
| 7. 情報収集・分析力の強化 | 8. 企画・提案・開発力の強化 |
| 9. 生産効率・販売効率の向上 | 10. 設備投資 |
| 11. 研究開発力・営業力・販売力の向上 | 12. 企業間連携・ネットワークの強化 |
| 13. 資金力の向上 | 14. 経理・財務の強化 |
| 15. 組織のスリム化・改革 | 16. 外注の促進 |
| 17. 内製化・適正規模化(ダウンサイジング) | 18. 企業や製品・商品のPR・宣伝等の強化 |
| 19. サービス向上 | 20. 後継者対策 |
| 21. わからない | 22. その他() |

【問 13】 貴社の経営者(代表取締役)の年齢をご回答ください。該当するものひとつに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 1. 20代以下 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70代以上 |

【問 14】 貴社の後継者について、該当するものひとつに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 親族内承継を予定している |
| 2. 従業員等への承継を予定している |
| 3. 外部人材を後継者に迎え入れる予定である |
| 4. 後継者がいないので、会社譲渡・売却を予定している |
| 5. 後継者がいないので、いずれは廃業するつもりである |
| 6. 未定・わからない |
| 7. その他() |

3. 企業立地について

【問 15】市内事業所の土地・建物の所有状況をおたずねします。土地、建物のそれぞれについて、表内の該当する□にチェックを入れ、面積を記入してください。

土地			建物		
所有状況	面積		所有状況	面積	
☐ 自己（自社）所有	坪	m ²	☐ 自己（自社）所有	坪	m ²
☐ 借地	坪	m ²	☐ 借地	坪	m ²

【問 16】摂津市内に事業所を設置した理由について、該当するもの3つまでに○をつけてください。

1. 市の補助金、奨励金制度	2. 市のサポート体制
3. 本社・他の自社工場への近接性	4. 主要取引先・関連企業への近接性
5. 市場への近接性	6. 地代・賃料
7. 原材料、商品等の入手の利便性	8. 人材・労働力の確保
9. 交通アクセスの利便性	10. 市のポテンシャル（潜在力）
11. 選んだ場所がたまたま摂津市内だった	12. その他（ ）

【問 17】摂津市内で事業を行うメリットについて、該当するもの3つまでに○をつけてください。

1. 得意先・顧客が近い	2. 外注先が近い
3. 同業者が近い	4. 大学や研究機関が近い
5. 公共交通機関の便が良い	6. 道路網が整備されている
7. 人材・労働力を確保しやすい	8. 情報通信基盤の充実
9. 事業用地の確保が容易	10. 地価や賃料が割安
11. 行政の産業支援策（優遇税制等）がある	12. 特になし
13. その他（ ）	

【問 18】①過去5年間の投資状況について、該当するものすべてに○をつけてください。

1. 土地を購入し、新たに事業所・倉庫・営業所・店舗等を設置した
2. 既存敷地内で事業所を改修・増設した
3. 事業所の新設や増設はなかったが、既存事業所内で機械等の設備投資、リニューアル等の投資をした
4. 上記のような投資はなかった

②上記①で「1」と回答された方におたずねします。投資の概要を記入してください。

投資時期	1. 平成 25 年（2013 年）	2. 平成 26 年（2014 年）	3. 平成 27 年（2015 年）
	4. 平成 28 年（2016 年）	5. 平成 29 年（2017 年）	6. 平成 30 年（2018 年）
投資場所	1. 摂津市内	2. 大阪府内の近隣都市（ ）	
	3. 上記以外の大阪府（ ）	4. 近畿の他府県（ ）	
	5. 近畿以外の国内（ ）	6. 海外（国名 ）	

③上記①で「2」もしくは「3」と回答された方におたずねします。投資の概要を記入して下さい。

投資時期	1. 平成 25 年（2013 年）	2. 平成 26 年（2014 年）	3. 平成 27 年（2015 年）
	4. 平成 28 年（2016 年）	5. 平成 29 年（2017 年）	6. 平成 30 年（2018 年）

【問 19】立地条件として重視することについて、該当するもの3つまでに○をつけてください。

1. 道路などインフラ整備が進み地域内の移動や輸送が容易
2. 高速道路などへのアクセスが良く広域での移動や輸送が容易
3. 近畿全域など大市場へのアクセスが容易
4. 大学や研究機関などが集積し、技術や情報基盤が充実
5. 支援機構・関連団体が充実
6. 取引企業や親会社、顧客などと距離的に近い
7. 業務関連の下請・協力企業の集積が厚い
8. 優秀な人材を多く確保できる
9. パート労働者を多く確保できる
10. 物価が安い
11. 土地の価格が安い
12. 自然環境・気候が良い
13. 従業員の生活環境が良い
14. 工業地域・商業地域などが整備されている
15. 住居が少なく、騒音や臭いなどを気にせずに作業ができる
16. 行政による資金面・税制面などの優遇措置が充実
17. その他（ ）

4. 雇用状況について

【問 20】貴社における従業員数について、該当するものひとつに○をつけてください。

前期と比較して

1. 増加している	2. 横ばいである	3. 減少している
-----------	-----------	-----------

来期見込み

1. 増加の見込み	2. 横ばいの見込み	3. 減少の見込み
-----------	------------	-----------

【問 21】今年度（平成 30 年度）、貴社は新卒採用または中途採用を行いましたか。該当するものに○をつけてください。また、採用した場合はその人数と理由について教えてください。

採用の有無

1. 採用した	2. 採用はしていない
---------	-------------

採用した人数

（正社員） 人	（パート） 人	（契約社員） 人	（派遣社員） 人
------------	------------	-------------	-------------

採用した理由（複数可）

1. 業務拡大	2. 退職者の補充	3. 正社員から他の雇用形態への切替
4. 専門職の必要性	5. その他（ ）	

【問 22】人材育成の取り組みについて、該当するものすべてに○をつけてください。

1. 社内での研修・講習会	2. 公的機関主催の講習会等へ参加
3. 業界団体主催の研修会等へ参加	4. 通信教育の奨励
5. 検定・資格取得の奨励	6. 取り組んでいない
7. その他（ ）	

【問 23】 貴社での障がい者雇用についてお伺いします。以下の質問にお答えください。

①雇用状況についてどちらかに○をつけ、「雇用している」場合は、雇用人数をご記入ください。

1. 雇用している	→	常勤雇用（正社員・非常勤等）	人
		臨時雇用（パート・アルバイト）	人
2. 雇用していない	→	【問 24】へ進んでください。	

②上記①で「1. 雇用している」を選択した方のみご回答ください。障がい者雇用の動機は何ですか。
該当するものすべてに○をつけてください。

1. 障がい者雇用率を達成するため	2. ハローワーク等の行政機関の要請から
3. 国等の助成制度があるから	4. 企業の社会的責務として
5. 仕事を受注するのに雇用が必要となっているため	6. 特段、動機はない
7. その他（	）

【問 24】今後の障がい者雇用の予定についてお伺いします。該当するものひとつに○をつけてください。

1. 近く雇用の予定	2. 検討中	3. まったく考えていない
------------	--------	---------------

【問 25】 貴社では、過去5年間に 65 歳以上の方を新規に採用したことがありますか。該当するものひとつに○をつけてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

【問 26】 今後、65 歳以上の方の新規採用を増やしたい、又は始めたいと考えていますか。該当するものひとつに○をつけてください。

1. 考えている	2. 考えていない	3. わからない
----------	-----------	----------

【問 27】 高齢者を雇用（継続、再雇用、新規を含む）するにあたって期待することについてご回答ください。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 高い技能・技術・知識を活用・継承できる	
2. 豊富な経験・人脈を活用できる	
3. 勤務態度や仕事の姿勢が真面目である	
4. 比較的安い賃金で雇用できる	
5. 職場の若年者等にプラスの影響を与えてくれる	
6. ワークシェアや短時間のシフト制にできるなど効率化が図れる	
7. その他（	）
8. 特に期待することはない	

【問 28】 高齢者を雇用（継続、再雇用、新規を含む）するにあたっての課題についてご回答ください。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 高齢者の担当する仕事を確保するのが難しい	
2. 高齢者を雇用するノウハウの蓄積がない	
3. 高齢者の雇用に向けた設備や作業環境の整備が進まない	
4. 求める技術・知識を有する高齢者が見つからない	
5. 能力や体力に個人差が大きく、会社にとって雇用に伴うリスクが高い	
6. 若年者の採用を制御せざるを得ない	
7. 作業効率が低下する	
8. 人件費負担が増す	
9. その他（	）
10. 特に課題はない	

1. 0%	2. 1~25%	3. 26~50%	4. 51~75%	5. 76~100%
-------	----------	-----------	-----------	------------

1. 重視する 2. ある程度重視する 3. あまり重視しない 4. 全く重視しない

1. 制度あり	2. 制度はない
---------	----------

1. 自社の規定	2. 市の共済制度	3. 中小企業退職金共済制度
4. その他の制度に加入（制度名： ）		

1. 駅周辺の整備・活性化	2. 商店街の活性化	3. 先端的な企業の誘致
4. 大学、研究所等の活用・誘致	5. 中小企業への支援の充実	6. 異業種交流の促進
7. 起業家への支援の充実	8. 摂津市の知名度の向上	
9. その他の活動（具体的に		）

1. 融資制度の充実	2. 産官学連携・企業間連携への支援
3. I S O取得への支援や資格取得への支援	4. 特許等の取得への支援
5. 接遇、営業、新商品・新技術開発への支援	6. 見本市出展、ネット販売等の販路拡大への支援
7. 取引先・顧客の紹介・斡旋	8. I T化推進への支援
9. 経営者への研修	10. 技術者・高度な人材育成への支援
11. 会社の後継者育成への支援	12. 新事業分野の開拓・異業種転換・業態開発への支援
13. 倉庫や新店舗用地取得、工場造設や新規工場用地取得への支援	14. 地域産業の核となる大企業やショッピングセンター等商業集積の誘致
15. 道路・交通網の整備	16. 下請け企業への支援
17. 苦情・紛争の解決	18. その他（ ）





【追加アンケート】

外国人の技術実習の適正な実施及び技術実習生の保護に関する法律（技能実習法）について、貴社における外国人技能実習生の雇用状況をおきかせください。

① 貴社では、外国人技能実習生を雇用していますか。

1. 雇用している

2. 雇用していない

② 上記①で「1」と回答された方におたずねします。雇用されている外国人技能実習生の国籍と人数を記入してください。

1. ベトナム

人

2. 中国

人

3. フィリピン

人

4. その他（

）

上記①で「2」と回答された方におたずねします。今後、外国人技能実習生を雇用する予定はありますか。

1. 予定がある

2. 予定はない

3. その他（

）